

日本競輪学校第102回(女子)生徒展示訓練出走表

平成24年1月22日(日)

平塚競輪場

1R 先頭固定競走 1625m 4周

競走成績は1月18日現在

車番	生徒番号	氏名	年齢	府県	ギヤ倍数	着順	1着	2着	3着	着外	出走回数	平均順位	平均点	S回数	H回数	B回数	出身校	紹介
1	1	タカマツ ミヨコ 高松 美代子	49	神奈川	3.33		1	6	8	17	32	17	74.96	0	0	1	私立 プール学院短大	アマチュアのロードレース大会で活躍し、抜群の持久力を引っ提げ入校。その持久力を前面に押し出し、サーキット訓練での強さは抜群。今回生最年長であり、生徒会長としてお母さんの立場で女子生徒を引っ張っている。
2	25	ウラベ カオリ 浦部 郁里	25	千葉	3.43		2	7	8	15	32	19	74.78	11	5	1	私立 順天堂大学	大学卒業後に自転車競技を始める。早いスタートから何でもこなす変幻自在な選手。スタートから前の位置に着けての突っ張り先行、脚力を貯めての捲り、追い込みを器用にこなし、身体能力も高い。
3	6	タバタ マリナ 田畑 茉莉名	23	千葉	3.27		0	1	2	4	7	21	74.00	1	0	0	県立 千葉商業高校	高校まではバスケットボールに打ち込み、卒業後はゴルフ場でキャディとして働いていた。適性で入校した直後から基礎訓練ですぐに力を発揮したが、秋から冬にかけて体調不良が続き満足な練習ができない日が続いた。体調が戻り、訓練に打ち込めば上位陣を圧倒する潜在能力を持つ。
4	24	イキ ユキノ 伊木 雪乃	26	熊本	3.27		0	2	0	26	28	31	70.64	0	0	0	私立 熊本信愛高校	祖父(明義・5期・引退)・父(博一・40期・引退)ともに元競輪選手。特筆すべき運動歴はなく、まだまだ未完成ではあるが自転車に対する思いと強くなりたいと努力する姿勢は人一倍。展開次第では大穴的存在になりうる。
5	35	ミフ シノ 三輪 梓乃	19	広島	3.43		3	11	6	12	32	9	76.81	2	3	4	県立 岩国商業高校	父は元競輪選手(直弘・66期引退)。綺麗なフォームと滑らかなペダリングは父親譲りか…。入校後、小さな身体がだんだん大きくなり力強さも増し、伸びしろは無限大。中国地方の小さな大砲に期待する。
6	23	シゲミツ ヒロコ 重光 啓代	27	岡山	3.43		2	2	6	21	31	25	72.87	3	9	4	私立 就実高校	バレーボールからの転身で、Vリーグで活躍していた実績を持つ。素晴らしいバネを持ちとその体力は計り知れないものがある。今はまだ結果として出てないがいつかきっと競輪界のエースになってくれる。
7	12	イヅカ トモコ 飯塚 朋子	32	大阪	3.27		0	0	4	22	26	29	71.69	0	0	0	私立 関西鍼灸短大 (現 関西医療大学)	MTB女子ダウンヒル競技で常にトップを走ってきたが、競輪選手に転向を決意。タイム面で伸び悩み、競走訓練でも苦戦しているが、スプリンタータイプでハンドル捌き・位置取りはうまい。脚力に磨きをかけ、更なる向上を目指せ。

2R 先頭固定競走 1625m 4周

車番	生徒番号	氏名	年齢	府県	ギヤ倍数	着順	1着	2着	3着	着外	出走回数	平均順位	平均点	S回数	H回数	B回数	出身校	紹介
1	30	ナカヤマ リーミン 中山 麗敏	29	神奈川	3.43		8	2	5	12	27	13	76.03	3	10	4	府立 市岡高校 (San Diego State Universty 中退)	陸上・水泳・ボクシングとスポーツは何でもござれ！またここの一番のパンチ力は強烈なものを持っており第1回トーナメントではキッチリ優勝戦にコマを進めた。まだまだ発展途上。「弾丸娘・中山」から目が離せない！
2	5	マツオ トモカ 松尾 智佳	23	愛媛	3.33		2	8	9	13	32	12	76.06	0	0	1	私立 松山大学	入校前はエキシビジョンレースとして実施されていたガールズケイリンで活躍。小柄で派手さはないものの、その小さな身体から溢れんばかりの闘志を出し、ガールズケイリンで養った堅実なハンドル捌きで上位を脅かす。
3	19	カドワキ マユミ 門脇 真由美	39	大阪	3.33		14	8	3	7	32	5	78.25	3	4	9	私立 古川商業高校 (現 古川学園)	自転車競技のキャリアは長く、アマチュア時代から大会で活躍。普段から無口でおとなしい性格だが、記録会では常に上位に位置する。競走訓練でも先行を基本に前に前にと攻めるひと際目立つ存在。ひとたび自転車に跨ると180度 変貌する。
4	9	ヤマト クボミ 大和 久保美	20	福岡	3.33		1	1	4	26	32	24	72.93	3	5	6	国立 久留米工業高専中退 (高認合格)	技能で入校し、日々生活・訓練に頑張っている。特に持久力に秀で、秋におこなわれた耐久訓練での登り坂では、エリートグループをぶっちぎり圧倒する勢いだった。今後さらに精進すれば大成すること間違いなし。
5	13	カセ カナコ 加瀬 加奈子	31	新潟	3.43		1	1	0	0	2	3	79.00	0	0	0	私立 順天堂大学	トライアスロンから転向。トラック競技を始めて2年に満たないが、めきめきと実力を付け、今や日本のトラック女子中距離界のエースだ。夢は賞金女王になることとロンドンオリンピックのオムニアムで表彰台に上がる事。
6	16	シライ ミサコ 白井 美早子	24	京都	3.36		8	2	3	4	17	7	77.82	6	6	8	私立 びわこ成蹊大学	永井清史選手(88期)の北京オリンピックでの活躍を見て輪界入りを決意。学生時代に陸上短距離で鍛えた脚は、今回生屈指のスプリンターとして開花。先行・捲りで本領発揮すれば、今回生No.1も手に届く。
7	8	アラマキ サトミ 荒牧 聖未	21	栃木	3.36		19	7	5	1	32	2	79.75	14	9	16	私立 東京女子学院高校 (私立 日本体育大学 中退)	小学校から社会人(西武)までアイスホッケーで活躍し、日本代表に選ばれた実績を持つ。父(友一・39期・引退)の後ろ姿を見て輪界入りし、自転車経験は少ないがアイスホッケーで鍛えた強靭な身体を活かし在校上位を争う。今後の成長が非常に楽しみだ。

※ 4レース終了後、イベントステージにおいて生徒紹介を行います。

※ 6レース終了し7レース選手紹介後1個レース、8レース終了後9レース選手紹介終了後1個レース実施いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。